

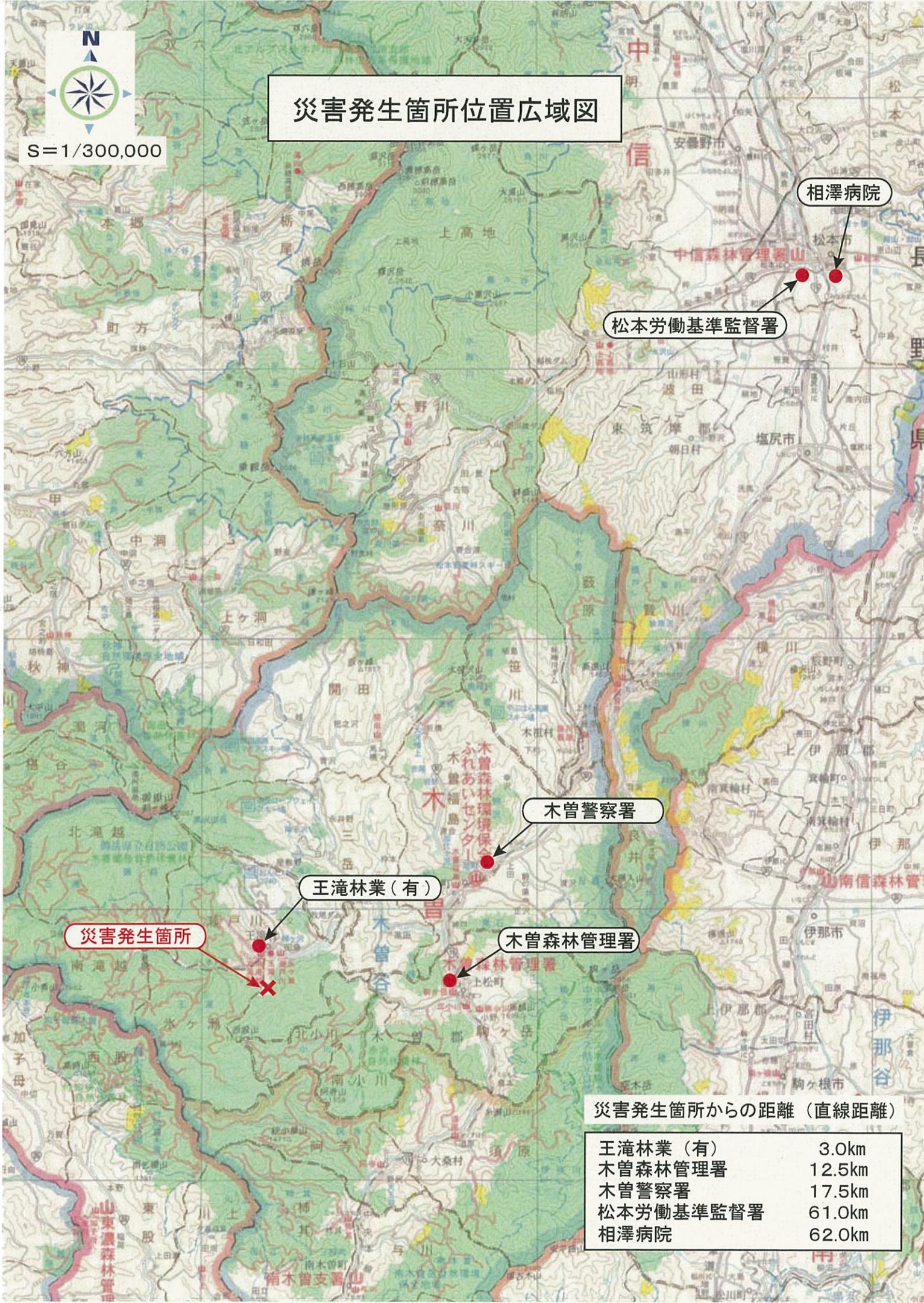
請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

1 署 等 名	木曾森林管理署
2 事業の種類	請負事業（製品生産（素材生産木曾11瀬戸川高樽へり））
3 災害発生日時等	平成29年6月20日（火） 10時00分頃発生 怪我の程度：顔面多発骨折 休業見込み：全治数ヶ月
4 災害発生場所	長野県木曾郡王滝村 王滝国有林2080ろ林小班
5 契約相手方	王滝林業有限会社 取締役社長 西路明
6 事業実行事業体	同上
7 被災者年齢等	年齢：30歳 性別：男 2の事業の経験年月日：10年 雇用区分：常用 社会保険等加入状況：労災、雇用、健康、厚生、林退
8 従事作業	伐倒作業
9 災害概況	<p>当日、被災者は同僚5名と人工林ヒノキ間伐木の伐倒作業に従事していた。（被災者と同僚Aの2名、同僚B・C・D・Eの4名で2箇所に分かれて作業していた。）</p> <p>当該箇所は特に蔓がらみのヒノキ立木が多く、1本伐倒では倒れないので、斜面下方から順番に元切り伐倒を進めていたが、伐倒木①は太い蔓が絡み合い倒れないと判断して、蔓がからんでいるヒノキ立木を一度に伐倒することとし、伐倒木①（ヒノキ伐根径18cm、樹高17m）に受け口を切り、蔓がらみの伐倒木の損傷とつるが十分機能し伐倒作業が安全に行えるよう追い口を高め切って、同じ蔓に絡んでいた上方の伐倒木②③④（②ヒノキ伐根径40cm、樹高23m、③ヒノキ伐根径22cm、樹高23m、④ヒノキ伐根径20cm、樹高16m）の3本を同じ方向に倒すため（④にクサビを使用）、残存予定木⑤（ヒノキ伐根径22cm、樹高20m、（同じ蔓に絡んでいたが外れると判断））と残存予定木⑥（ヒノキ伐根径40cm、樹高23m）の間に伐倒したが、事前に元で切っていた蔓（藤蔓・葡萄蔓）の影響が依然として残り、伐倒木②③④は残存予定木⑥にもたれるような状態で倒れなかった。</p> <p>10時頃、被災者は同僚Aに声かけを行い、今後の作業段取りを考えるため、伐倒木②③④の状況確認後、伐倒木①付近に状況確認に行ったところ、突然、残存予定木⑥にもたれていた②③④が何らかの影響（⑥の枝、蔓の引っ張り等）で回転しながら残存予定木⑤を巻き込み下方に倒れ（⑤は根倒れ）、伐倒木①を横へ押し倒すような状況となったことから、伐倒木①の追い口部分が裂け上がり、避けた木口部分が被災者の右顔面に当たり被災した。（被災者は自力歩行できず、現場の状況から担架での搬送もできないため、ヘリコプター（愛知県防災ヘリ）を要請、13時11分、ヘリコプターで現地から松本市相沢病院へ搬送された。）</p>
10 その他特記すべき事項	



S=1/300,000

災害発生箇所位置広域図



相澤病院

松本労働基準監督署

木曾警察署

王滝林業(有)

木曾森林管理署

災害発生箇所

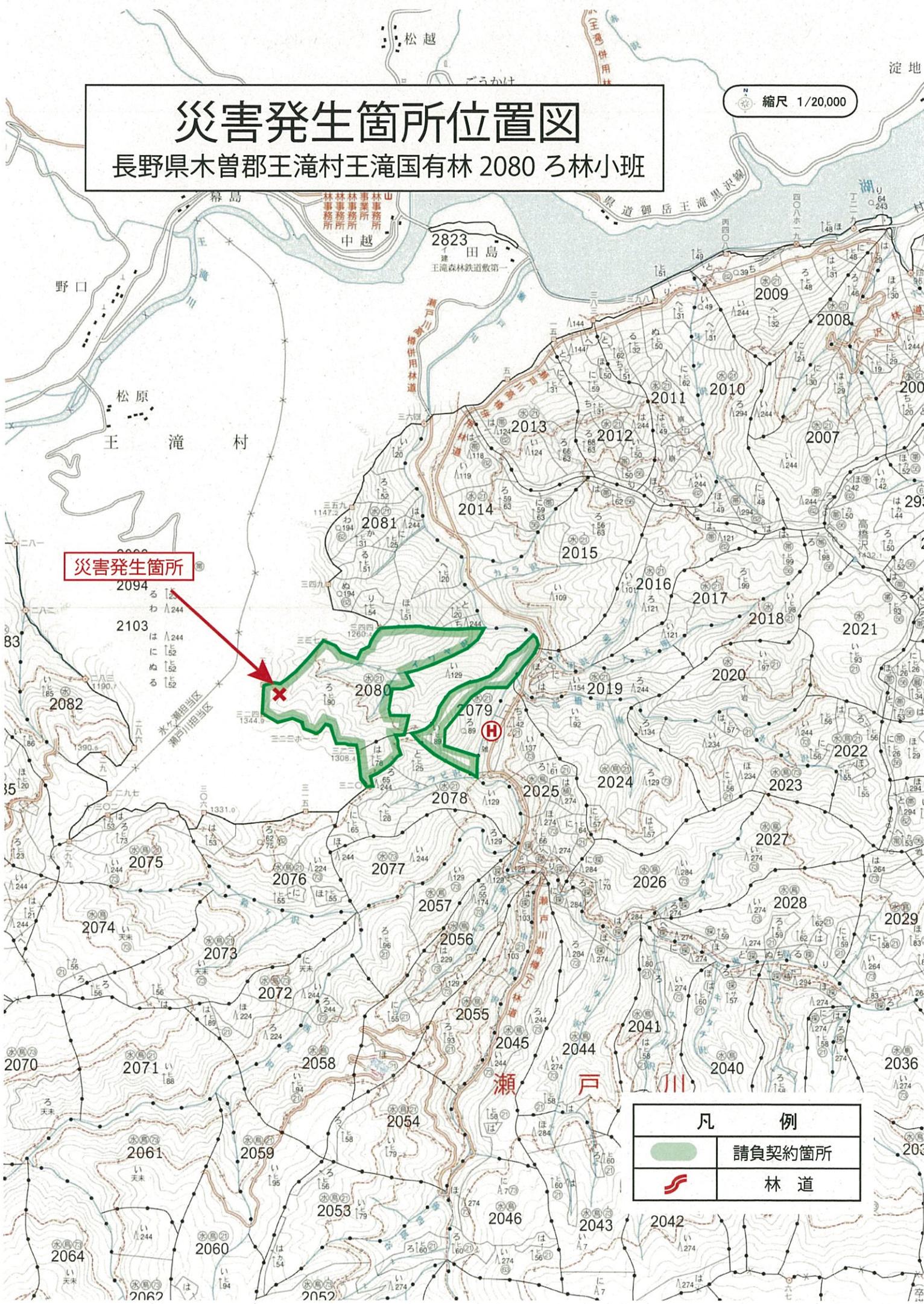
災害発生箇所からの距離 (直線距離)

王滝林業(有)	3.0km
木曾森林管理署	12.5km
木曾警察署	17.5km
松本労働基準監督署	61.0km
相澤病院	62.0km

災害発生箇所位置図

長野県木曾郡王滝村王滝国有林 2080 ろ林小班

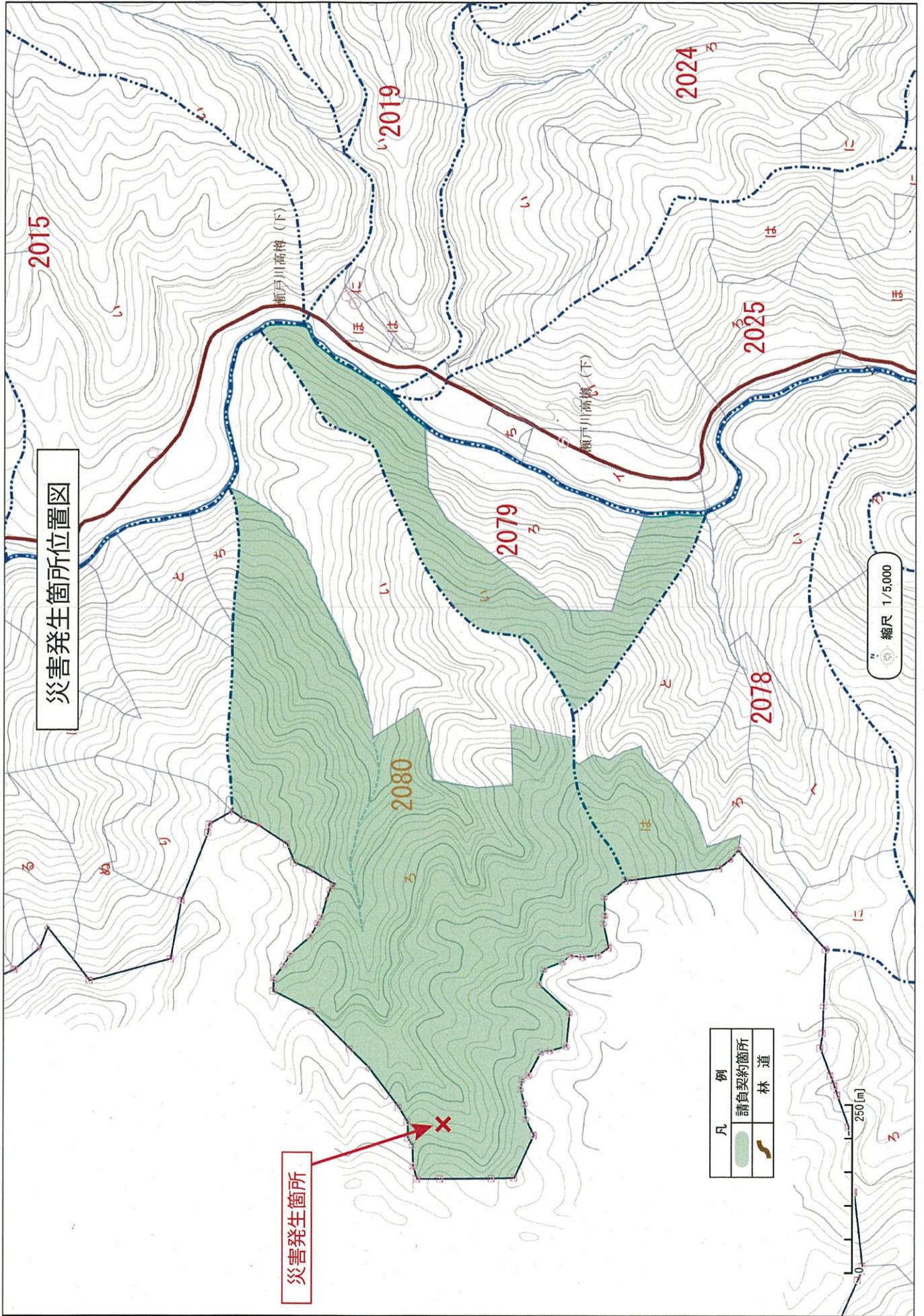
縮尺 1/20,000



災害発生箇所

凡 例	
	請負契約箇所
	林道

災害発生箇所位置図



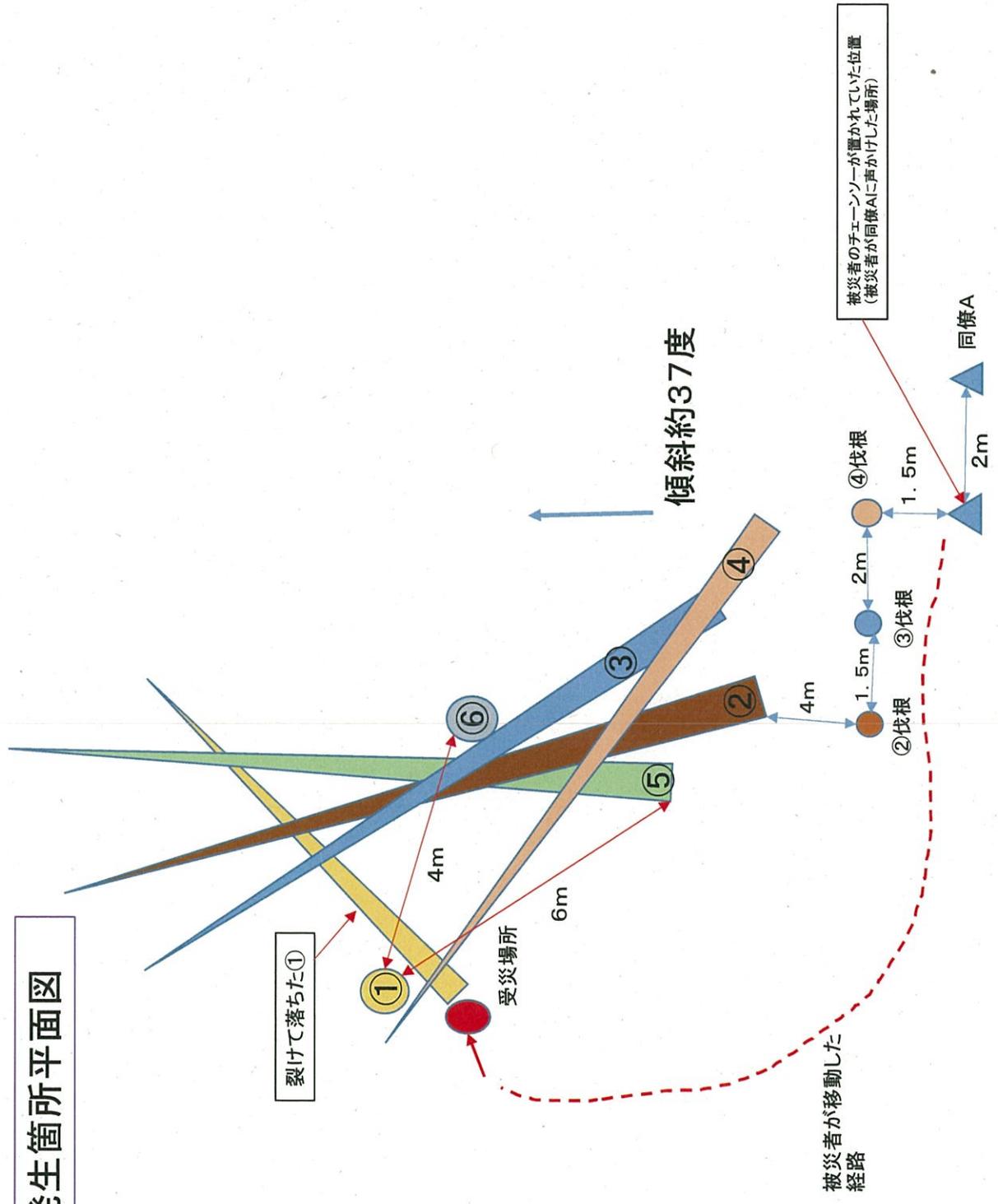
災害発生箇所

凡	例
	請負契約箇所
	林道

縮尺 1/5,000

250 [m]

災害発生箇所平面図



災害発生状況見取図

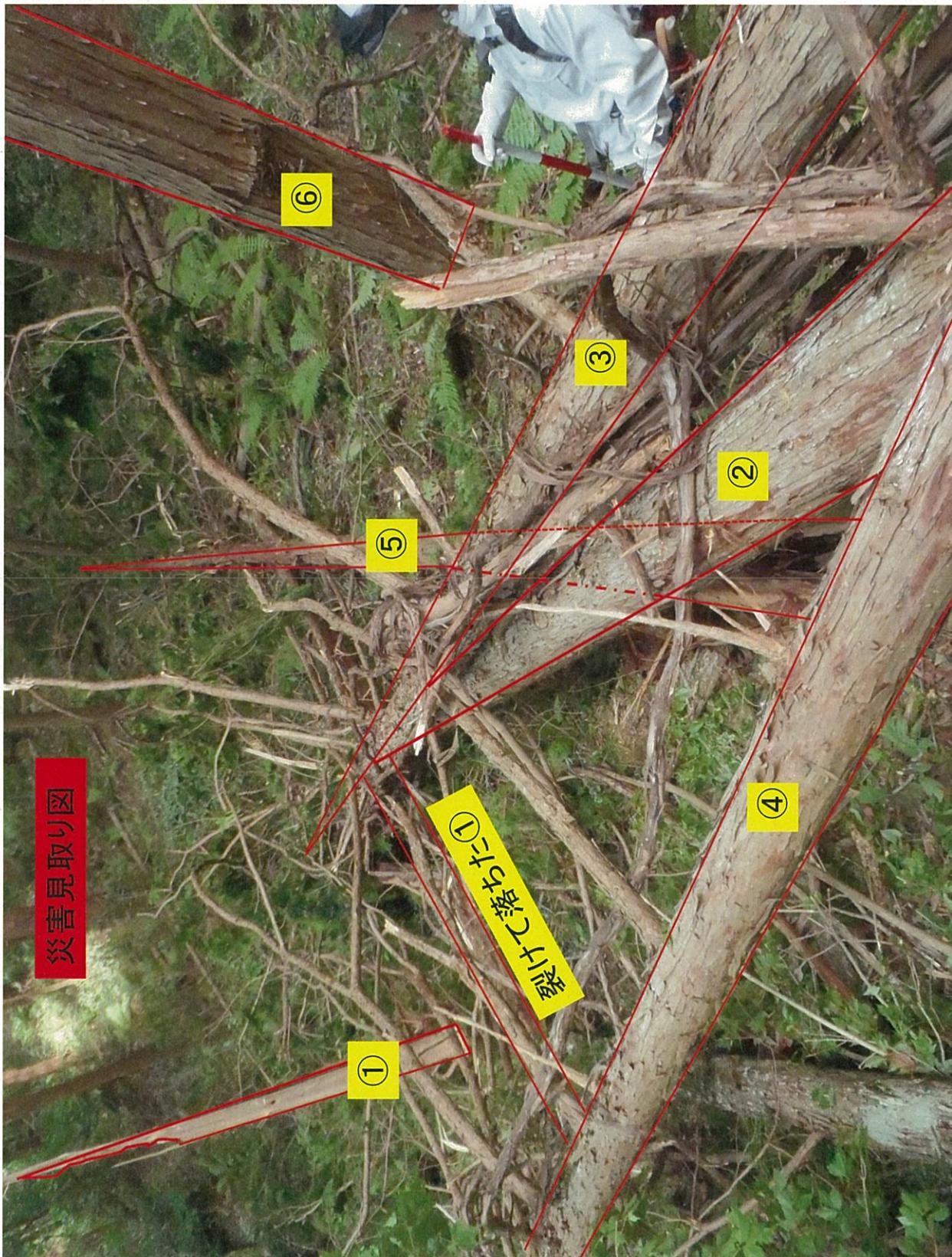
裂けた伐倒木①
押さえつけられた状態

裂けた伐倒木①
裂けた瞬間

裂けた伐倒木①
被災後

確認にしようとした位置





災害見取り図

裂けて落ちた①

⑥

③

②

⑤

④

①